



CITY CRUISE 「AKARI」 Since 2020



走行イメージバース

この車両の経歴書

形式	200 形	車号	207 号	車種	半鋼製二軸ボギー車
製造年月	昭和 25 年 2 月	製造所	日立製作所		
昭和 25 年 2 月	長崎電気軌道、初のボギー車として竣工 当時の西鉄 福岡市内線 500 形と同形 車両限界の関係で車体幅が 120 ミリ小さい ワンマンカーに改装の折、屋根にあった前照灯を窓下に移設				
令和 2 年 1 月	CITY CRUISE「あかり」として竣工				
全長	11,000mm	高	3,600mm	幅	2,270mm
		定員	48 人	自重	16.2t



内装イメージバース

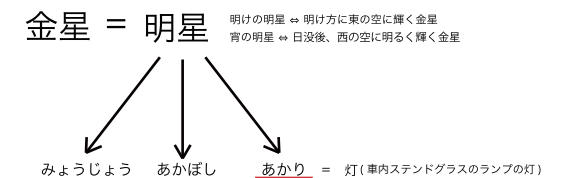
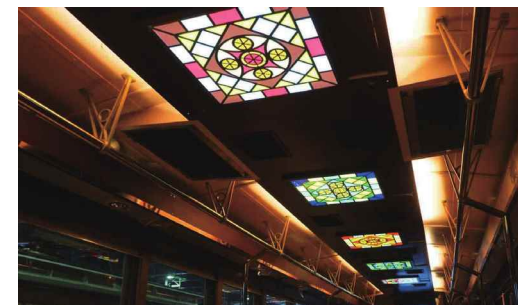
NSS
75th Anniv.



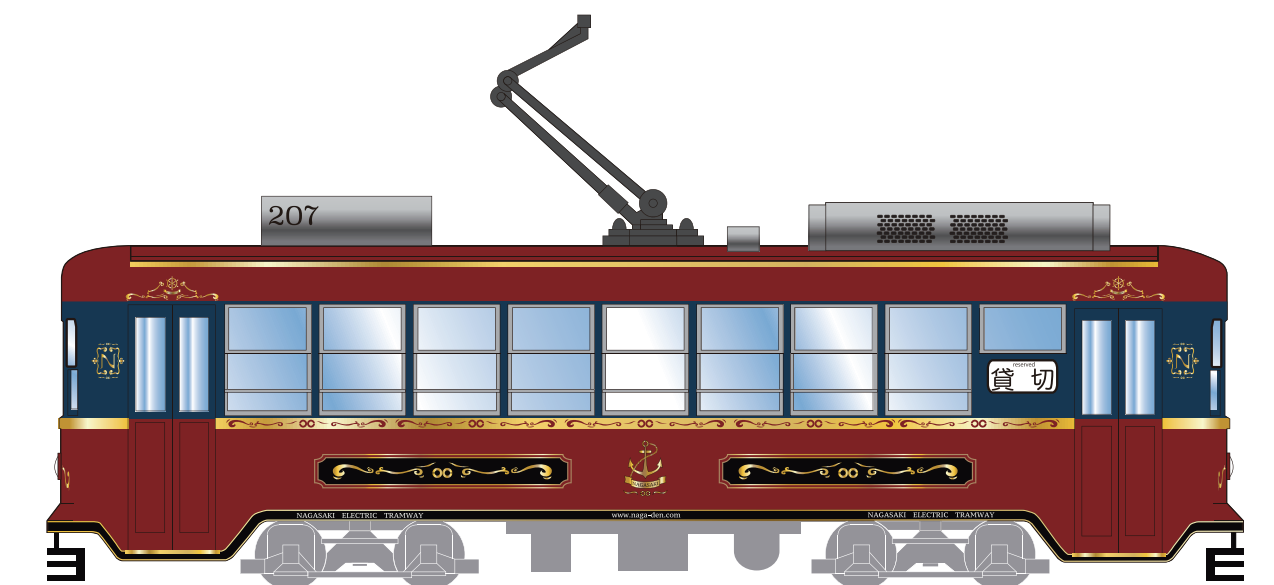
2018 年に創立 75 周年を迎えた NSS 長崎船舶装備株式会社は、その記念として何か長崎の町に還元できる地域貢献ができないか？と検討してきた折に、長崎の人々に親しまれ愛されてきた「ビール電車」のリニューアルのタイミングが重なり、このリニューアル計画が 2018 年より進められてきました。そして 2020 年 1 月、NSS 創立 75 周年の記念事業として、「ビール電車 207 号」が新たに「CITY CRUISE AKARI」という名前で誕生いたしました。

長年にわたり親しまれてきた「ビール電車」のリニューアルは、デザイン及びシートレイアウトを一新。グループ単位（2P&4P）を基本としたレイアウトに変更。（総員 20 名） 電車内のインテリアは船旅を連想させるような落ち着いた色調の家具色でまとめています。アクセントとして装飾金物類をゴールド、全体のライティングは、温かみのある暖色系の照明を使用し天井部分のステンドグラス調パネル照明やテーブルライトの灯りが外部からも視認できるように配置しています。外装の車体デザインも、あざやかな赤と紺色のカラーリングで夜間運行時のみならず、昼間の運行でも長崎の街並みに映える外装としています。

そのネーミング（車名）も、長崎の空に輝く「金星」をイメージして「あけのほし・よいのほし”アカリ”」と名付けました。



天井のステンドグラス調ライトパネルは、長崎の空・山・海をモチーフにしたカラーと、街並みの灯りをイメージしたカラーのコンビネーションとしています。同じくステンドグラス調のテーブルスタンドは、デザインパターンを大浦天主堂のステンドグラスからオマージュしています。





CITY CRUISE AKARI・車内インテリア



施工 / 解体中の車内



リニューアル前の車内



4P Seat



2P Seat



リニューアル前の外観





akari
形式 200 形 車号 207 号

NSS 長崎船舶装備株式会社